



広報

叡と恵

E i c h i k e l

No.

50

特集

法人理念に基づいた 各施設の取り組みをご紹介します!



教護平和寮

児童平和寮

太平

ぶるうむ此花

今池平和寮

IL 伯太

まつき
まつのき
一歩

アテナ平和

たんぽぽ園

各駅停車

じよふるはかた

わかば

叡知恵

ヘレンケラー女史のイニシャル文字「H.K」の象徴。
『叡知』は、深遠な道理を悟る才知とすぐれた知性を言い、『恵』とは、天地のいつくしみです。
『叡知恵』とは、森羅万象の情けと、人間の知性の融合という意味であります。

<http://www.helenkeller.jp>

ホームページが
リニューアルしました! 日本ヘレンケラー財団



バーコードリーダーで読み取り
モバイルサイトにアクセス!

法人理念(和)

に基づいての

各施設の取り組み

法人理念には四つの柱があります。

『人間としての尊敬』

『自己決定の尊重』

『生き甲斐、働き甲斐のもてる生活』

『社会の一員としての自覚』です。

人間としての尊敬

救護施設 平和寮

救護施設平和寮は視覚・身体・精神など様々な障害を抱えた方が入所されています。そのため年齢や生活歴なども多岐に渡ります。

利用者さんが持つ考え方を尊重し、社会ルールを守る事の大切さを伝えながら、習慣に合った個別支援計画を実施しています。利用者の特性に沿った社会参加の方法を模索する事が求められていると日々痛感しています。

さてここに、長く入所されている視覚障害者のMさんより入所以来の想いを綴っていただきました。利用者さんが感じた尊敬への畏敬を感じただければ幸いです。

柴田 秀子

特集

これまでは施設単位でそれぞれのエキスパートを育成してきましたが、今後は法人が核となり、一丸となつてグローバルに対応できる積極的な横のつながりを形成していきます。理念に掲げる『和』には協調の精神を持って互いの持てる力を集積する意味が込められています。

今回の特集は発刊五十号を記念し、この法人理念に着目した各施設の取り組みを紹介します。

人として育まれ 来て歳歳の

今輝ける 平和寮

共に生きる事を教わつて、職員の皆さんには三十余年お世話になっていきます。ずっといいですよと言われ安堵する傍ら、私自身は自業自得の後悔ばかりで涙の日々でした。

ある日、笑顔がいいですねと言われ、私は周りに暗い影を落としていた事に気付きました。はつとして庭の花が美しく見え、人の優しさが胸に熱く感じ入るようになったのです。

つまり、人として甦らせていただきました。活力が出て来て、好きな編み物をするようになりました。手引きされて自由に外出したり、地域のみなさんと笑顔で交流できる事に感謝しています。

これからもやさしき手引きと温かい心をお願い申し上げます。

Mさんの手記より

社会の一員

としての自覚

今池平和寮

今池平和寮では社会の一員としての自覚を持つて頂けるような様々な取り組みをしています。

その一つに、町内の歩道を週に一度、有志の利用者さん約二十名で清掃しています。開所当時から始めた聞いておりますので、二十二年間続けていることになるのでしょうか。この他にも社会の一員としての自覚を持ってもらうため、地域活動への参加や協力を利用者さんにもしてもらっています。

もちろん、これらの活動に利用者さんと一緒に職員も参加していますが、利用者さんだけでなく普段から、それぞれの職員が、社会の一員である、自分も地域社会の一員であると自覚しながら、施設・事業所で勤めているかが大事であると思います。

利用者さんに社会の一員であるという自覚を促す前に、まずは、各職員が、勤めている施設・事業所のある地域を自分が住んでいる地域と同じように考え、自宅の前にゴミが落ちていたら自然と掃除するように、施設・事業所の前にゴミが落ちていたら自然と掃除をする。そういう各職員の自覚・行動があつてこそ、私たち職員は、利用者さんに社会の一員であるという自覚を持ってもらえるように促すことができるのではないかと思います。

奥村 真一



自己決定の尊重

I-L 伯太

I-L 伯太では利用者さんの旅行の行き先や行程等を、利用者さんの意向を汲み取って、実施するようにしています。

毎年とても楽しみにされているせつかくの旅行なのだから、利用者さん自身の希望に出来る限り応じられるよう担当職員も毎年じっくり時間を掛けて旅行代理店の方とプランを立てています。

平成二十二年から二十四年まで利用者さんの希望で実施した旅行先を挙げると、北海道、名古屋、韓国ソウル、東京、沖縄と、日本国内のみならず、パスポートを取得されて海外にも出掛けられた利用者さんもおられます。海外旅行された利用者さん、これからもいろんな外国に行きたいと話されています。

アメリカやヨーロッパへの旅行の希望を持つている利用者さんもおられるのですが、長時間飛行機に搭乗出来るか、費用が高額になる、外国語を上手く使えない等の高いハードルがあるのも事実です。サッカーワールドカップを観に行きたい。メジャーリーグの試合を現地で観てみたいと、利用者さんの夢は果てしなく膨らみます。



国内旅行を好まれる利用者さんの希望も多く、日本中の有名なお城や神社仏閣を巡る旅行がしたいと話されて、ガイドブックを参考にされて楽しまれています。

国内派、海外派の方の夢のプランの実現に向かって、利用者さんがそれぞれの夢を持って前向きに生きていけるよう、お手伝いをさせていただきます。ただけならと思っています。

橋本 進

生き甲斐、働き甲斐の もてる生活

じよいふるはかた

地域生活支援センターじよいふるはかたは、共同生活介護・共同生活援助(以後ホーム)、ヘルパーステーション・スマイル(以後スマイル)、そして十一月から加わった生活介護と就労継続支援B型の多機能型事業所「フルールいずみ」があります。

ホームで生活されている利用者さんは現在四十一名。日中は作業所や会社に通われています。

スマイルは、利用者さんの要望に応じて移動支援事業に力を入れており、休日ともなると皆さん思い思いの行き先を希望し出かけられます。これまでにはなかったサービスを開始したことで、週明けの作業所では外出時の話題でもちきりとのこと。平日のお仕事と余暇の充実により、皆さんの生活にもメリハリがついてきた様子です。

ある利用者さんは、毎月のお給料から決まった金額を趣味の人形購入に使うことを楽しみにされ、またある利用者さんは、入院しているお母さんのお見舞いに持つて行くお土産を買うため貯金されている様子。先日は一泊旅行もあり、そのために皆さん節約して旅行のお小遣いを貯めていたそうです。

じよいふるはかたでは、グループで生活しているからといって人に合わせることはあまりなく、お一人お一人の思いを引き出す支援を心がけています。利用者さんが自分の人生に自分の思いで色づけしていけることが、人生を豊かにし、生き甲斐・働き甲斐につながるのではないかと、思う毎日です。

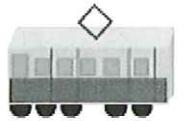
三宅 裕子



入院しているお母さんに髪留めをプレゼント！大変喜ばれたそうです。

◆各駅停車

新人ヘルパー研修



ヘルパーステーション『最寄駅』では、現在新しく採用になったヘルパーの研修を行なっています。求人募集してから五名のヘルパーが増えました。まずは職員で同行研修を行い、利用者さんの介助方法や外出先での注意点などを伝えていきます。

研修中は、私達職員が指導者という立場であるため、間違った支援であつてはなりません。模範を示すためにも、より細心の注意を払った支援を心がけていきます。その中で、日頃の自分の支援の反省点がわかり、ヘルパーへの研修というよりは自分の支援の振り返りの場になっているかも知れません。支援の場は色々ですが、利用者さん一人一人のことをよく理解し、より良い関係性を築ける支援が大切だとこの研修を通して感じました。事業所全体でそんな支援ができるよう、目指していきたいと思えます。

山下 雅世



◆ I L 伯太

I L 伯太の作業活動について

I L 伯太では生活介護の活動の一つとして、ボルトやネジの個数を数え、それをパックに詰める受注作業を行っています。職員が声を掛けなくても作業場所が開いていれば「仕事するの？」と十名程のメンバーが集まって来られます。皆さん仕事という意識が高いようです。受注作業を完成させるためには、パックにラベルを貼ることや完成されたパックを入れる箱の組み立て作業もあります。ラベル貼りを素早く行える人、箱を組み立てることが好きな人、正確に素早く個数を数え、あつという間にパックに入れ終えてしまう人、毎日の活動の中で皆さんスキルアップされているようです。皆さんの作業が早いので、確認のための計量が追いつかない時もあります。

また、作業への参加には給料をもらえるという目的があり、自分が頑張った証に「お金ももらえる？」と聞いてこられる方やそれを積み立てて旅行に行くという目標をもって参加される方もおられます。作業の時間をメモ書きして、頑張って取り組んだということを、職員に見せてくださる方もおられます。ボルト、ネジのパック詰めは一つの作業ですが、この『仕事』を通して目標を持つという活動にしていきたいと思えます。そして、地域で生活することに結び付けていきたいと考えています。

小橋 武野

◆じょいふるはかた
はじめまして！

フルールいずみです

平成二十四年十一月より開所した小規模多機能型事業所フルールいずみです。事業は就労継続支援B型と生活介護を行なっており、主として、じょいふるはかたのグループホームのメンバーが利用されています。事業所自体が一軒家を改装して運営していますので、日中の様子は大変アットホームな雰囲気にあふれています。また、利用者さん同士がとても仲が良いのもうちの自慢となっています。

小さな事業所ではありますが、利用される皆さんの大きな心の拠り所となれるよう頑張つてまいります。ちなみに『フルール』はフランス語で『花』を表します。いずみの地に咲いた小さな花を大切に育てていきたいと思えます。

池田 浩明



◆福祉型障害児入所施設 平和寮

秋の遠足



十一月三日、晴天のなか平和寮では長居公園、鶴見緑地、蜻蛉池公園の三班に分かれて秋の遠足に出かけました。

私が参加した蜻蛉池公園班は、児童十五名、ボランティア二名、職員五名の総勢二十二名で約一時間のドライブの後、お昼前に無事目的地に到着しました。到着後は皆で缶けりをして遊びました。最初はあまり乗り気ではなかった児童も、いざ、始まってみると一生懸命でオニが缶から離れる機会をうかがって、飛び出してきたは缶を蹴り飛ばしていました。

そして、ランチタイム。この時間がやはり皆一番いい顔をしていました。たくさん種類のおかずを見て、厨房の方々への感謝の気持ちを感じました。

この日は、公園内でフェスティバルが開かれており、中世の衣装を着た方々が、児童に風船を配ったり、竹の玩具を作っているコーナーがあったりと、賑やかな雰囲気を楽しむことが出来ました。また、年少児は滑り台で遊んだり、どんぐりを拾い、年長児はバドミントンをするなどして、それぞれに午後の時間を満喫しました。帰りの車中では児童の気持ちよさそうな寝顔が印象的でした。

加藤 嘉昭



◆救護施設 平和寮

平和寮の新たな取り組み

普段、様々な課題を抱え生活されている利用者の方々が、行事に参加している時は日々の課題から少し解放される『一瞬の休息时间』ではないかと思えます。それは利用者さんと職員が、同じ空間、感覚などを共有する事のできる時間でもあると思えます。



利用者さんにも、季節を感じ、気軽に参加していただけるような新しい企画を考えています。

昨年の冬、初めての試みとして利用者さんと一緒に中庭にイルミネーションの飾り付けを行いました。寒い冬空で行なわれた点灯式でしたが、利用者さんと一緒に暖かい飲み物を飲みながら輝きを見ていると、自分自身も、ほんのり温かい気持ちになれました。

利用者の皆さんはもちろんのこと、職員にとっても『ほっ』と一息つけるような：そんな行事を作っていきたいと思えます。

谷中 陽一

◆アテナ平和

共生のまちづくりに向かって

アテナ平和には『地域交流・地域福祉推進委員会』があります。『一人ひとりの個性及び人権を尊重し、誰もが住みよい共生のまちづくりを推進します』というアテナ平和の施設方針のもと、地域交流イベントや機関誌の発行など色々な企画を検討・実行しています。そういった委員会の動きの一つとして、広く地域の皆様を対象に『障がい福祉講座』を今年の二月に初めて開催しました。

第一回目の内容としてはメンタルヘルスを取り上げました。『あなたの元気をみつけよう！こころの風邪をふきとばせ！』というテーマを掲げ、職員研修でいつもお世話になっている女性ライフサイクル研究所の森崎先生にお話ししていただきました。

ストレッチなどリラックスできる運動もとり入れた内容で、あつという間の二時間で。参加者の皆様からも好評で、「落ち込んでいた気持ちが楽になりました」とのお言葉も頂きました。

今後も施設方針の実現を目指し、地域の福祉力を向上させるための取り組みを色々な角度から発信していきたいと考えています。これからも宜しくお願い致します。

植田 辰彦

◆阪南市立たんぽぼ園

エビカニクス

みなさん 運動していますか？

たんぽぼ園の子どもたちは毎朝体操をしています。十一月から『エビカニクス』という新しい体操に取り組んでおります。

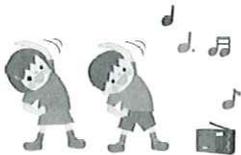
エビカニクスはエアロビクスの要素をふんだんに取り入れた内容で、皆で寒い冬を乗り越えました。

私は以前、フィットネスクラブに通っていました。色々なスタジオを経験するうちに気づいた事があります。それは背中筋肉を大きく動かす動きがとて多いことです。おかげでダイエットより肩こりの方が随分良くなりました。

さて、たんぽぼ園の子ども達は短い腕をグッと伸ばし、今日も元気一杯体操しております。

皆さんも、肩関節や肩甲骨を意識して体を動かしてみてはいかがでしょうか。

看護師 豊田 敦子



◆障害者相談支援センターわかば

私の仕事

当センターは、障がい児・者の相談支援を行っています。私は主に児童や、二十代の発達障がいの方の相談を担当しています。

まず、『障がい受容』について本人、家族と必ず話し合います。それは、本人のせいではないのに、責められる状況が多く、自己否定を抱かれています。自分自身から得手を得ず、自分の得手、不得手を自身で知り、不得手を周囲に理解してもらい、得手で不得手を補う、そのような方法を見つけたら、いつも伝えます。

時として、互いの譲れない想いでぶつかる時もあります。生意気なことを言い、後でごめんなさいと謝る時もあります。こんな相談員でも、また相談しようと思ってくださる、障がい児・者・家族の皆様には私は支えられています。

『障がい』は悪いことではありません。理解されないことが苦しいのだと思います。住み慣れたこの阿倍野区で私は一緒に悩み考え、共に歩んで行きたいと思っています。

目 令子

◆今池平和寮

合同文化事業にて見事優勝！

昨年十一月六日に行われました第十三回大阪救護施設合同文化事業に、今池平和寮が参加しました。大阪府下の施設が参加できる大きな大会で今回は全十八施設が参加しました。これまで何度も参加させて頂いており、各施設お芝居やコントを発表する中、今池平和寮は昨年と同じエイサーで挑みました。昨年と全く同じ踊りではなく、新曲を一曲追加する事になり、職員と利用者さんの猛特訓が始まりました。

昨年参加された方も多くいたので、お互い教え合いながらこれまでの二曲はすぐにマスター出来たのですが、新曲は元気いっぱい踊りであったこともあり職員・利用者さん共々悪戦苦闘しました。前日まで一生懸命練習を行い利用者さんも一切弱音を吐かず、職員も励まされながら取り組みました。

そして迎えた本番は全員少し緊張しながらもしっかりと踊りきる事が出来、その結果優勝することが出来ました！職員・利用者さんと一緒に喜びあひ、とても嬉しかったです。今回優勝出来たことで、今池平和寮全体の意欲もより一層高まりました！

西成市民館で行われた文化祭にも出演させて頂ける事になり、大勢の人の前で披露しました。ご覧になった方々に喜んで頂くことができました。これからも頑張りたいと思います。

大槻 夏美



◆さつき園

『釣り針（仕掛け）』はじめました

自主製品として『釣り針（仕掛け）』の製作・販売をしています。

各施設工夫され、自主製品を製作、販売されていますが、さつき園でも何かオリジナリティーのある商品を作れないか考えていました。そんな中、釣りが好きな職員から提案がありました。『釣り針（仕掛け）』を製作することになりました。

利用者さんも新しい作業で始めは戸惑う姿も見られましたが、慣れてくると、次々と作つておられます。

先日、自分達で作った『釣り針（仕掛け）』を使用する為、和歌山の海まで就労継続支援Bグループで行きました。道中、利用者さんより「本当に釣れるかな？」と不安に感じられる声も聞かれましたが、いざ到着して釣りを始めると、「あつ！釣れた」と言う声がたくさん聞かれました。終わってみるとたくさんの魚が釣れ、皆さんが笑顔になられていました。

製品の良さも確認し、利用者さんの製作する姿が以前より頼もしく見えます。

今後も、製作してまいりますので、よろしくお願い致します。

大西 悟



◆太平

クリスマス会

太平では昨年十二月二十四日にクリスマス会が開催されました。プログラムの内容は、毎年恒例の利用者さんの仮装コンテスト、職員のバンド演奏、プレゼントの贈呈を含め、来賓のご家族からの出し物、利用者さんと職員による演奏と合唱、実習生の出し物、そして施設長と施設長代理によるギターの弾き語りと盛りだくさんの内容でした。

出席者の多くから、「内容が濃くて良かった」という声が聞かれました。また、今年はクリスマス会実行委員会全員がサンタやトナカイの衣装を身に付け、クリスマスらしさを演出しました。

昼食も、クリスマスメニューにケーキ、コーヒ、ビスケットと豪華なメニューをお腹いっぱい召し上がりながら利用者さんと職員ともに大喜びでした。

今年も素敵なクリスマス会になるように利用者さんと職員ともに協力し合っていきたいと思っています。

中川 華奈



◆ぶるうむ此花

屋外活動

春の心地よい風が感じられる季節となりました。皆さんの事業所では屋外の活動をどうなさっていますか？

ぶるうむ此花では、隣接する島屋コミュニティ広場での運動を続けています。利用者さんと職員が一緒に、ラジオ体操やウォーキング、日なたぼっこを楽しんでいます。ここでサッカーをすることが大好きな利用者さんもたくさんいます。たまに近くの保育園児が広場のわきをお散歩することがあり、そんなときは元気な笑顔と「こーんにーちはー！」の声でフエンスをはさんで飛び交います。また、公共の広場なので、夕方は近隣の子ども達が毎日のように走り回っています。

屋外の活動は、利用者さんにも職員にも何よりの気分転換。これからも冬場の防寒、夏場の水分補給など、工夫をしながら取り組んでいきたいと思っています。

西田 岳峰



法人の特性を

生かして！

理事長 西川 佳夫

ありません。それが良いのか悪いのかは別にして、私たちは法人の特性を最大限に生かし、職員一人一人がそのことを自覚し、将来の法人を担っていくひとりになって

欲しいと強く願います。

よく言われてきた『福祉はぬるま湯』的な発想を払拭し、年功序列だけに頼るのではなく、知識、やる気、実力などをよく吟味していかなければなりません。

私がまだ盲児施設の指導員の頃、ある実習校との懇談会で担当教授から「女子生徒はいくらでも紹介できるが、男子生徒となると躊躇(ちゅうちよ)してしまう」と言われました。その訳を聞くと、福祉の世界には入口があっても出口がない、男子生徒の将来の保証が全くない。といった内容だったと記憶しています。今このような発言をするとな男女雇用機会均等法に抵触しそうですが、確かに的を得た答えであったような気がします。当時の女子職員は結婚すれば退職し、勤続平均年数が約三年だった。ご時世の話です。

法の整備により今では全く当てはまりませんが、綿々として変わらないのが社会福祉法人です。

当時の法人の約六割がオーナー法人であり、約二割が天下りと言われる法人、約二割が当法人のように理事長を含め全ての職員が雇われてありどちらにも属さない法人です。

この構図は未だもって大きな変化は

また今年度から一斉に導入した人事考課等をも参考にしながら、職員の意識を高め、一定の基準のもとで行なう昇進昇格試験による人事システムを導入しました。意欲のある職員はどしどし挑戦して、将来の法人の屋台骨になつて頑張つて欲しいと願っています。

平成二十五年四月より、今まで段階的に行なわれていた高齢者雇用確保措置(六十五歳定年)が義務化されます。元来法人の定年は六十五歳と規定されており、特に問題はありませんが、可能な限りの雇用を考え、一定の基準をもとに七十歳までの再雇用が可能な制度をも導入しました。管理職といえども定年(六十五歳)に関しては厳守していただくことも、これから

の法人運営には必要な事だと考えます。

全職員が職場だけではなく、法人に對しても誇りを持ち、支援の質を互いに切磋琢磨しながら高めあっていたきたいと思います。

定年退職に際して

『灯よ、明かりを絶やすことなく』

西野 彩



法人日本ヘレンケラー財団の職員として勤務させていただきました約二十五年を通して多くを学ばせていただきました

心より感謝致しております。昭和六十二年より知的障害者通所更生施設、此花第二太平洋学園、平成十年に異動で救護施設今池平和寮、平成二十二年に再び異動で此花第二太平洋学園(平成二十三年四月より新法移行により生活介護事業所となりました。同年五月、名称変更し『ぶるうむ此花』に勤務させていただきました。末日に定年退職の日を迎えました。当時小学校の低学年でした。私は、ヘレンケラー女史来日時に開催された講演会会場に入ってお話を聞く幸運に恵まれました。

法人にとつて職員ひとり一人は大切な財産です。職員の定着率向上を図っていくためにも、魅力ある職場づくり、やり甲斐の持てる職場づくりを全職員が一丸となつて推し進めていかねばなりません。職員の奮起に期待します。

それから、五十五年以上の年月が経ちましたが、今も会場の雰囲気を感じることが出来ます。そこには『生きる力』が溢れていたのです。そして、その後私の生き方に光を注いでくれました。

私は、自分自身の成長を生涯を通じて望んでいます。フオークソング・ムウブメントにかけた青春、二十年程の年月をかけて国際交流を大切にしてきました人生、ジャーナリストとして見つめた日々などが、福祉職員として勤務する以前の私を育んでくれました世界でした。法人の職員として勤務されておられる職員の皆様が、ヘレンケラー女史が灯された明かりを、これからも絶やす事なく、それぞれの役割を果たしていかれますよう、心より祈ります。今後は、法人の評議委員として皆様の活躍の様子を聞かせていただきます。

「寄付・ご寄贈
感謝申し上げます

平成二十四年九月〜二十五年二月
末までの各施設の寄付・寄贈です。

法人本部

春日出商店街振興組合婦人部
部長 村主 悦子様 一万円

救護施設 平和寮

昭和町中二町会様 二万円
傘木 澄男様 四万円

阿倍野区民生委員協議会様
阿倍野区社会福祉協議会様

ふれあいまつりより 五万四千三百三十三円
三河屋荒物店様 五万円

宵美代子氏福祉基金様
アルミ製車椅子一台

株式会社リツクス
代表取締役会長 前田 利和様

相生様 カップ麺四箱
ぬいぐるみ十二体

中西様 オムツ一箱
日本ナザレン教団

瓜生様 野菜一箱
パザー用品一箱

ゼロワンネーブルハウス様
オムツ・パットカバー各一袋

ナニワ6フオーラムネット様 四万円
オリムピア製菓株式会社様

チヨコレート詰め合わせ 七十五個

福祉型障害児入所施設 平和寮

神田 祥子様 オムツ
谷口 さつき様 衣類

増田 幸司様 文具・食品類
深澤 未希様 衣類

日本キリスト教団 南大阪協会
いすみ会様 一万七千七百円

塚越 恵美子様 一万五千円
川内 勉様 三万五千円

オリムピア製菓株式会社様 百万円
イケア ジャパン様 お菓子
ソフトトイ

株式会社 エムズインダストリー

栗山 信様 食品
大阪本場青果卸売協同組合
理事長 牛山 隆之様 みかん

株式会社リツクス
前田 頼利様 シャンメリー

株式会社 イズム・コーポレーション
藤井 義広様 クリスマスのブーツ

全国農業協同組合連合会愛媛本部様
いよかん

平成二十四年六月三十日
株式会社 ユー・エス・ジェイ

社会貢献プロジェクト様
(Dream Weavers) ハイエース 一台

前号のこの欄での掲載がもれていたこと
とお詫び申し上げます。

太平
伯太町婦人会様より 歳末基金として

佐久間 隆司様 二万八千円
坂本 通晴様 五万円

三和産業様 じゃがいも六箱
くもん出版様 くもんパズル三箱

住友化学様 餅
春日出商店街振興組合婦人部様

住友化学労働組合大阪支部様 一万円・みかん一箱
住友化学労働組合大阪支部様 六万円

今池平和寮
株式会社 ユー・エス・ジェイ様 衣類

南大阪ヤクルト販売株式会社様
ハッピードリームサーカスケット

IL伯太
伯太町会様 一万円

信太山駐屯地様 一万円
伯太婦人会様 三万八千円

西口 龍美様 カーペット二枚
IL伯太家族会様 七万円

キリスト教短期大学様 一万円

さつき園

株式会社協和様 お茶一ケース
福永様 布類

奥田 百合子様・松本 久容様・松本様・
西岡様・半田 若子様・林様・森本様・雅楽
様・森井様・杉田様 衣類他 パザー用品

中村 千草様 ケーキ(一万円相当)他
安国 寿子様 さをり袋物

さつき園 家族会様
販売用のぼり二本(二万円相当)

さをり工房千草様 五千元
舞地区老人クラブ様 雑巾百枚

阿形様 アップルパイ五箱
山口様 リンゴ

三澤 律子様 コピー用紙
関沢興業株式会社様 二千円

茶道ボランティア様 茶道懐紙三セット
北浦様・草竹様 きんかん

アテナ平和
淀野 員代様 衣類等

村松 弘子様 衣類
米澤 則次様 衣類

川地 麻里様 衣類
笠松 多美代様 衣類等

田辺 俱子様 衣類
東野 晃三様 もち米

阿倍野区民生委員協議会様
阿倍野区社会福祉協議会様

宵美代子氏福祉基金様 三万円
明城 啓子様 車椅子

各駅停車
辻村様 ホットプレート

栗谷様 水田様・菅様 お菓子
石井様 お菓子

NPO法人 コスモス様 紙すき道具一式
大阪本場青果卸売協同組合様

阿倍野区民生委員協議会様
阿倍野区社会福祉協議会様

みかん一箱
三万円

読売テレビ「二十四時間テレビ」による

福祉車両贈呈事業完了のお知らせ
この度、読売テレビ「二十四時間テレビ」様より福祉車両の贈呈を受け、左記の事業を完了いたしました。

ここに事業完了のご報告を申し上げます
と共に、読売テレビ「二十四時間テレビ」様ならびに、御協力を賜りました関係各位に謹んで感謝の意を表します。

事業名 福祉車両の贈呈(タイハツアトレ)

事業総額 百八十五万六千円

助成金額 百八十五万六千円

施設名・所在地 阪南市立たんぼぼ園
多機能型事業所 大阪府阪南市黒田四六八一

完了日 平成二十五年二月十九日

日本財団助成金による
事業完了のお知らせ

この度、日本財団様より助成金の交付を受け、左記の事業を完了いたしました。

ここに事業完了のご報告を申し上げます
と共に、日本財団様ならびに、御協力を賜りました関係各位に謹んで感謝の意を表します。

事業名 車いす対応車(普通車)の整備

事業総額 三百四万円

助成金額 二百四十三万円

施設名・所在地 地域生活支援センター各駅停車
生活介護事業所「二丁目」

大阪府東住吉区駒川一―二十一―五

完了日 平成二十五年三月十一日

事業名 就労支援車の整備

事業総額 九十六万三千九百四円

助成金額 五十八万円

施設名・所在地 障害者支援施設 アテナ平和

大阪府阿倍野区美草園三―七―二

完了日 平成二十五年二月四日

法人人事報告

退職(定年退職) 三月三十一日付

・西野 彩 (ぶろうむ此花 施設長)

昇進・昇格

・永野 信夫 今池平和寮 施設長 四月一日付

湯上 誠

法人本部 部長 三月一日付

管理職異動(旧在籍施設) 四月一日付

【ぶろうむ此花】

・大西 孝亮 (今池平和寮)

【今池平和寮】

・永野 信夫 (福祉型障害児入所施設平和寮)

【福祉型障害児入所施設平和寮】

・植田 辰彦 (アテナ平和)

【アテナ平和】

・田島 千幸 (救護平和寮)

・宮前 克彦 (わかば)

【I.L.伯太】

・湯上 誠 (法人本部)

主任及び一般職員(旧在籍施設) 四月一日付

【救護平和寮】

・織田 まゆみ (太平) 三月一日付

・川端 理沙 (福祉型障害児入所施設平和寮)

・大岩 彩 (今池平和寮)

・松永 和也 (アテナ平和)

【福祉型障害児入所施設平和寮】

・中岡 早苗 (法人本部)

・北尾 千晶 (アテナ平和)

・西田 真基 (I.L.伯太)

【太平】

・平山 靖浩 (I.L.伯太)

・谷口 幸輝 (今池平和寮)

・和田 弓世 (I.L.伯太)

・津野 きよみ (I.L.伯太)

【ぶろうむ此花】

・川端 悠太 (各駅停車)

【今池平和寮】

・伊藤 勝啓 (法人本部)

・柴田 秀子 (救護平和寮)

・大山 政広 (太平)

・藤井 恒輝 (I.L.伯太)

【I.L.伯太】

・花野 真実 (太平)

・渡邊 啓二 (太平)

・玉那覇 茜 (太平) 二月一日付

・岩元 宏美 (太平)

・加藤 嘉昭 (福祉型障害児入所施設平和寮)

・岡原 祐輔 (アテナ平和)

【アテナ平和】

・吉田 歩美 (福祉型障害児入所施設平和寮)

・谷中 祐子 (各駅停車)

・田中 佐知子 (太平)

・下村 美里 (救護平和寮)

・目 令子 (わかば)

・菅岡 満 (I.L.伯太)

【各駅停車】

・新座 啓介 (ぶろうむ此花)

本部出向

・伊藤 勝啓 (法人本部)

・野村 恵美子 (救護平和寮)

・中岡 早苗 (福祉型障害児入所施設平和寮)

新任職員

【救護平和寮】

・石川 桃子 ・白井 美広

【福祉型障害児入所施設平和寮】

・橋本 遼

【太平】

・佐藤 佑磨 ・福田 綾美 ・竹田 涼

・赤嶋 里美 ・橋本 真由美

・宮原 小百合

平成二十四年度 法人栄養士部会の報告

栄養士が配置されている各施設から集まり、二ヶ月に一度開催する部会において、今年度は主に法人内の見学及び試食会を実施し、各施設での取り組みを学びました。

救護施設平和寮(五月)では『嚥下機能低下』の利用者さんに対応する食事としてソフト食を導入し、安全で、見た目も楽しめ、さらに味の良いものを目指して食事支援を行ない、その他にも嚥下体操、肺炎防止のための口腔ケア等を合わせて実施しているとのこと。生活・医療・食事等全ての業務に関わる職員一同が支援情報を共有し、総合的な支援体制を整える事が重要であると再確認しました。

ソフト食の試食会では西川理事長も参加され、栄養士方の熱心な取り組みに耳を傾けておられました。当日配布された『長く食べ続けるための十箇条』には日常的に行える支援内容が判り易く書かれています。これまでに見学させて頂いた施設は、救護施設今池平和寮(七月)、障害者支援施設アテナ平和(九月)、障害者支援施設I.L.伯太・太平・多機能型事業所フルールいずみ(十一月)、生活介護事業所ぶろうむ此花(平成二十五年一月)で、各施設での利用者支援における独自性や共通点について理解を深める事ができました。



ソフト食献立

粥・サーモンのマヨネーズソース・ひじき煮
筑前煮・卵とじスープ・抹茶ムース



平成二十五年度は福祉型障害児入所施設平和寮の見学からスタートします。栄養士部会では、今後もケアホームの世話人さんを対象に、適切な食事提供について『栄養教室』を随時行い、利用者さんの食生活の充実に役立てていただけたらと思います。

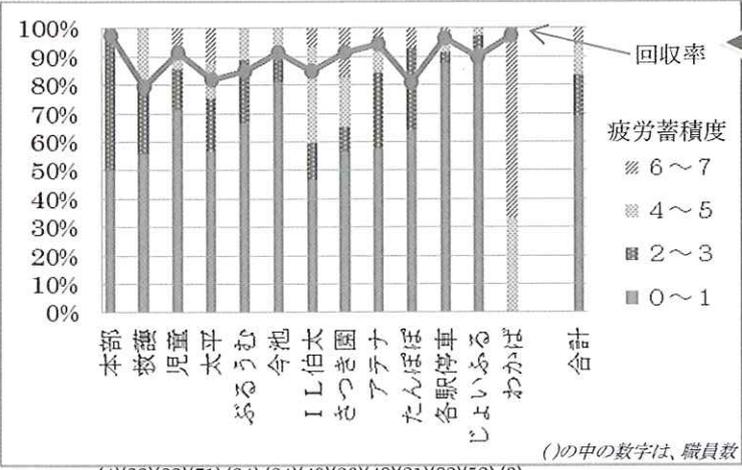
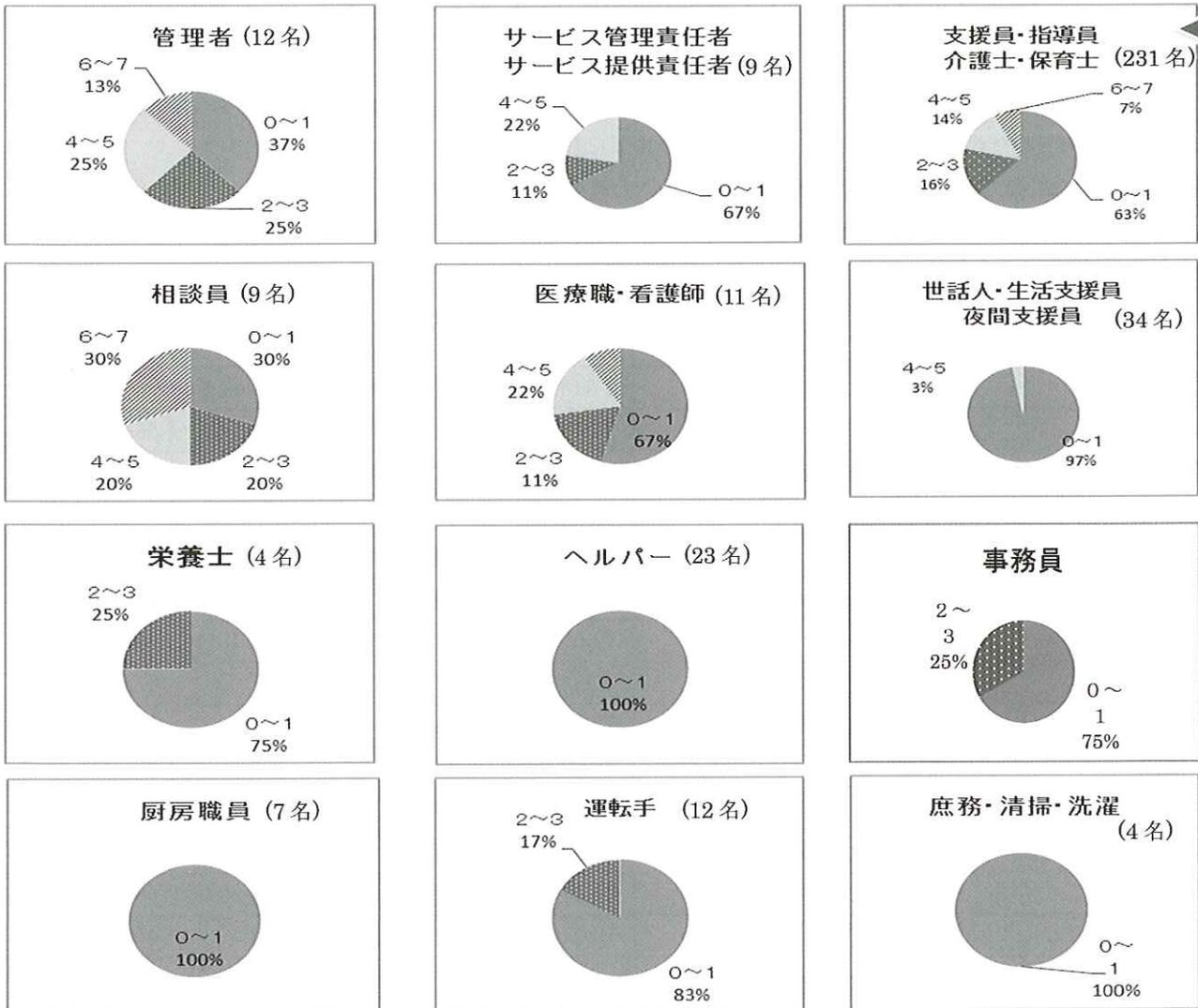
《看護師部会 活動報告》 労働者の疲労蓄積度チェック



平成二十四年度看護師部会では、各施設の見学と情報交換を中心に活動を行ってきました。また今年度の計画として、法人職員の健康について役立つ啓発活動をしていこうということで、まずは全職員を対象とした『労働者の疲労蓄積度チェック』を行いました。

集計結果は下記のとおりです。来年度は、この結果を踏まえて職員の心身の健康維持に役立つ活動をしていきたいと考えています。尚、この集計結果は、施設の種別、職種によって抱える問題も様々ですし、勤務時間の違いもあれば、人数も一人から何十人という差があることをご承知の上、ご覧ください。

職種別集計結果



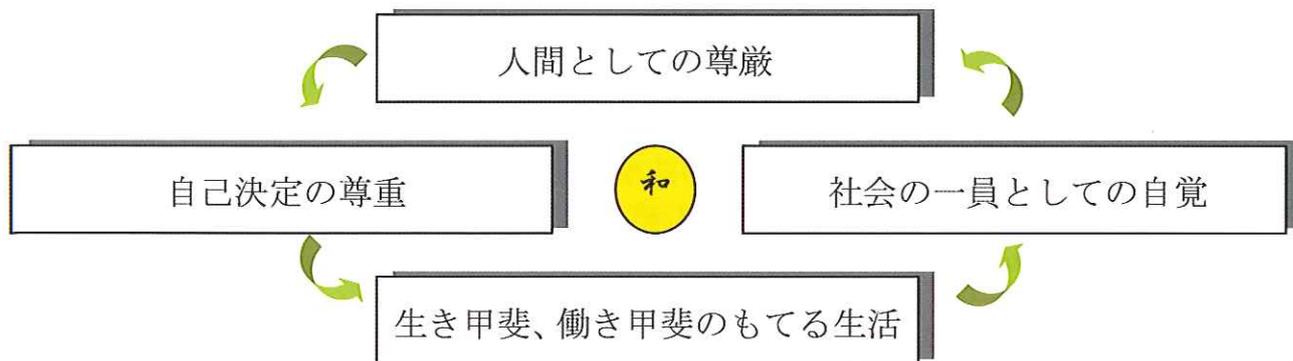
施設別集計結果

疲労蓄積度について

自覚症状と勤務の状況の評価から、仕事による負担度の点数を割り出しています。

点数	仕事による負担度
0~1	低いと考えられる
2~3	やや高いと考えられる
4~5	高いと考えられる
6~7	非常に高いと考えられる

社会福祉法人 日本ヘレンケラー財団
法人理念



《職員行動指針》

- ◎ 私たちは利用者の人権を最優先に考え、自己研鑽（スキルアップ）に励み、満足度100%の支援を目指します。
- ◎ 私たちは常に向上心を持ち、利用者の方の立場に立って支援します。
- ◎ 私たちは変化に臆することなく、また、現状に満足することなく自らの進化に挑戦し続けます。
- ◎ 私たちは福祉のプロとして自覚し、プライドと責任を持って支援にあたります。
- ◎ 私たちは地域や行政に積極的に提言・実践を行い、地域福祉の向上に努めます。

名称	種別	所在地	電話
法人本部	事務局	〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町3-4-27	06-6628-2229
平和寮	救護施設	〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町3-4-27	06-6628-6151
平和寮	福祉型障害児入所施設	〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町3-27-2	06-6621-4583
太平	障害者支援施設	〒594-0023 和泉市伯太町3-13-68	0725-45-2760
太平診療所	診療所	〒594-0023 和泉市伯太町3-13-68	0725-43-9066
ぶるうむ此花	生活介護事業所	〒554-0024 大阪市此花区島屋3-2-32	06-6468-7898
今池平和寮	救護施設	〒557-0003 大阪市西成区天下茶屋北1-4-6	06-6633-3161
IL伯太	障害者支援施設	〒594-0023 和泉市伯太町3-13-57	0725-41-8191
さつき園	多機能型事業所	〒599-0211 阪南市鳥取中9-1	072-471-6868
まつのき園	地域活動支援センターI型	〒599-0211 阪南市鳥取中9-1	072-471-6863
アテナ平和	障害者支援施設	〒545-0003 大阪市阿倍野区美章園3-7-2	06-6629-2062
阪南市立 たんぼぼ園	多機能型事業所	〒599-0203 阪南市黒田468-1	072-473-2816
各駅停車	地域生活支援センター	〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町3-35-2	06-6629-7778
じょいふるはかた	地域生活支援センター	〒594-0023 和泉市伯太町1-13-50-401	0725-58-7512

編集後記

「永き日を轉り（さえずり）足らぬひばりかな」と詠んだのは、松尾芭蕉です。私にとっては、ウグイスよりも春を感じさせてくれるのは、「揚げひばり」と呼ばれるひばりの轉りです。「ピーチクパーチク」と轉りながら忙しく羽ばたき、春の晴天を高く飛ぶ姿を、実に健気に感じてしまうのです。鳴き声が変わると、今度は翼を広げて螺旋状に滑空しながら地表に舞い降り、再び轉りながら天空を目指していくのを何回も繰り返します。今、窓の外でひばりの轉りを聴きながらこの一年間を想い重ね、ひばりを応援する片方で、何か元気づけられているような気がします。委員の皆様、本当に有難うございました。

(編集委員長)

編集委員長 山本 卓

編集委員 市場 昭子 (平和寮 救護)
佐々木 俊宏 (平和寮 福祉型障害児入所施設)
中川 華奈 (太平)
河野 歩 (ぶるうむ此花)
南 洋一郎 (今池平和寮)
菅岡 満 (IL伯太)
植田 辰彦・山本 悠美子 (アテナ平和)
亀井 伸幸 (じょいふるはかた)
西川 佳孝・山本 ひろみ (さつき園・まつのき園)

叡知恵 第50号

発行者 社会福祉法人 日本ヘレンケラー財団 理事長 西川 佳夫

発行日 平成25年4月1日

事務局 〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町3丁目4番27号